

ネオドパストン[®] 配合錠

を服用される患者さんにご家族の方へ

お薬の効果を十分に発揮させ、副作用を防ぐために、
注意していただきたいことがあります。飲む前に必ずお読みください。

1 ネオドパストン配合錠による治療

薬の働きについて

このお薬は、レボドパとカルビドパの配合剤です。レボドパは、ドパミンに変わり、脳内に取り込まれて、不足しているドパミンを補い、パーキンソン病を改善します。

カルビドパは、レボドパの脳への移行を高めます。

パーキンソン病並びにパーキンソン症候群に伴う無動～寡動、筋硬直、振戦に効果を表し、日常生活動作を改善します。



服用時の注意点

- ◆自分の判断で、お薬の服用を急にやめたり、量を減らしたりしないでください。
- ◆決められた量以上を服用しないでください。
- ◆お水かぬるま湯で服用しましょう。



保管方法その他

- ◆乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温(車の中などを含む)、湿気を避けて保管してください。
- ◆薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

	ネオドパストン配合錠L100		ネオドパストン配合錠L250	
剤形 (実物大)	表面		裏面	
包装 シート				
	表面	裏面	表面	裏面

2

副作用について(生活上の注意点)

突発的睡眠・眠気

前兆もなく急に眠り込んでしまうことや眠気、ボーッとしたりすることもありますので、車の運転や機械操作は避けましょう。



幻覚/妄想

幻覚や妄想が現れることがあります。高齢者や認知症を伴うときは特に注意が必要です。最も一般的なのは幻視(存在しないものが見える)です。

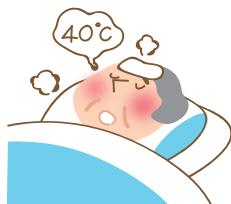
症状が出た場合、薬の調節が必要になることがありますので、これらの症状が出ても恥ずかしがらずに、すぐに医師・薬剤師にご相談ください。



悪性症候群

急に服用を中止したり、減量したりすると「悪性症候群」という全身の筋肉の硬直と発汗、40℃近い発熱の症状がでることがあります。放置すれば死に至る危険な状態です。

悪性症候群は脱水状態や体調が著しく悪い時に起こりやすいので、「今日は風邪薬を服用するのでパーキンソン病のお薬は休んでおこう」と勝手に自己判断するのは大変危険です。体調が悪い時でも、勝手に自己判断せず、医師・薬剤師にご相談ください。



吐き気

特に服用始めに吐き気を感じることがあります。

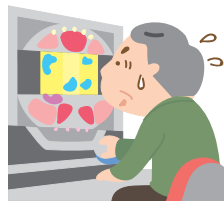
多くの場合、次第に慣れて、気にならなくなるのですが、症状が続く場合は、医師・薬剤師にご相談ください。



衝動制御障害・ドパミン調節障害症候群

元気になり過ぎて、衝動を抑えられない状態(病的にギャンブルをしたい、病的な性衝動、むやみに買い物をしたい、むやみに食べ物を食べたい、パーキンソン病のお薬を必要量を超えて服用したい)になったりすることもあります。

症状が出た場合、薬の調節が必要になることがありますので、これらの症状が出ても恥ずかしがらずに、すぐに医師・薬剤師にご相談ください。



尿や汗が黒くなる

この薬を服用していると尿や汗が黒くなる場合があります。これは服用した薬の一部が体内でメラニンという黒い物質に変わるのが原因と言われています。薬そのものによる着色のため、ほかに症状を伴わなければ心配は要りません。



MEMO



大原薬品工業株式会社

2021年5月作成